

元気かいだ!

Q & A

読者からの質問、疑問に
お答えするコーナーです。

千葉県医師会編集広報委員会

大濱洋一 医師



Q 「日本脳炎の予防接種」についてですが、接種した方がいいのか迷っています。

A 日本脳炎は、日本脳炎ウイルスの感染によっておこる急性脳炎です。ヒトからヒトへの感染はなく、ブタなどの動物の体内でウイルスが増

殖した後、そのブタを刺したコガタアカイエカなどがヒトを刺すことによって感染します。東南アジアおよび東アジアに広く分布し患者が多発しています。ウイルスを持つ蚊に刺されたあとも症状なく経過する（不顕性感染）場合がほとんどですが、脳炎を発生した場合20〜40%が死に至る病気といわれています。

わが国でも50年前までは年間1000人以上の患者が発生していましたが、ワクチンの普及、衛生面の改善によって減少し、最近の年間感染者数は10人未満になっています。おもに高齢者に発生しますが、小児の発生もみられます。有効な治療法はなく、ワクチンによる予防が最も効果的です。

日本脳炎の定期予防接種は1期と2期があり計4回接種します。1期は生後6カ月から7歳6カ月までで、初回は2回で追加は1回です。2期は9歳以上13歳未満で1回です。

日本脳炎ワクチンを接種した後に、因果関係は不明なもの、重症な脳炎を発生した事例があったことをきっかけに、平成17年に厚生労働省から、「日本

脳炎ワクチンを積極的にすすめることは控えてください。しかし、希望者には接種しても差しつかえありません」という内容の勧告がありました。その後、平成21年に新しい日本脳炎ワクチンが承認され、現在は日本脳炎の定期予防接種を通常どおり受けることができます。

このため、平成17〜21年度に日本脳炎の予防接種を受ける機会を逃している場合があります。今年の5月から、日本脳炎の定期予防接種の特例措置がさらに拡大され、定期予防接種の機会を逃した平成7年〜18年度に生まれた方は、20歳未満の間に不足分の接種を受けることができるようになりました。

ワクチン接種率の低下によって、今後再び感染者が増加することが危惧されますので、母子健康手帳などを確認して規定の回数に不足している方は積極的に接種を受けて下さい。

